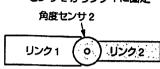


### 順運動学の計算

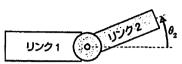
- 平面上を動く、関節が2つのロボットアームの姿勢を考えよう

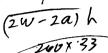
- 同次変換行列があれば順運動学は解ける
- 一般に、各リンクの角度は、センサによりそれぞれの基準状態からの角度とし > て計測される

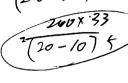
センサ2がリンク1に固定



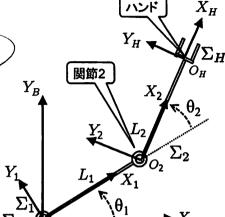
リンク 1から 角度 θ, を計測







Mudy



■ 4つの座標系をとる

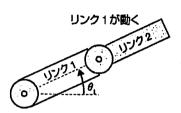
Σ<sub>R</sub>: ベース座標系 (動かない)

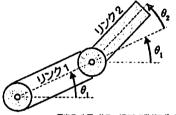
 $\Sigma_1$ : ベース座標系から $\theta_1$ 回転した 座標系 (関節1に固定の座標系)

 $\Sigma_2: \Sigma_1$ から $X_1$ 軸方向に $L_1$ 並進の後. θ。回転した座標系 (関節2に固定の座標系)

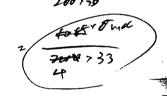
 $\Sigma_H: \Sigma_2$ から $X_2$ 軸方向に $L_2$ 並進した 座標系(ハンドに固定の座標系)

10





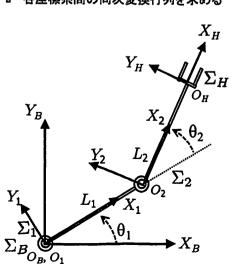
図出典:木野、谷口、イラストで学ぶロボット工学



## 順運動学の計算

## ・ 各座標系間の同次変換行列を求める

順運動学の計算



1) θ₁回転

$$^BT_1 = egin{bmatrix} C heta_1 & -S heta_1 & 0\ S heta_1 & C heta_1 & 0\ 0 & 0 & 1 \end{bmatrix}$$

2) L₁並進 ⇒月回転

$$^{1}T_{2}=egin{bmatrix} C heta_{2} & -S heta_{2} & L_{1}\ S heta_{2} & C heta_{2} & 0\ 0 & 0 & 1 \end{bmatrix}$$

3) L2並進

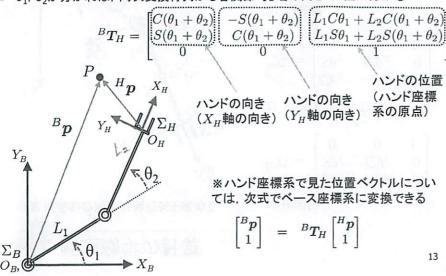
$${}^{2}\boldsymbol{T}_{H} = \begin{bmatrix} 1 & 0 & L_{2} \\ 0 & 1 & 0 \\ 0 & 0 & 1 \end{bmatrix}$$

隣接する同次変換行列を掛けることで、離れた座標系間の同次変換行列が



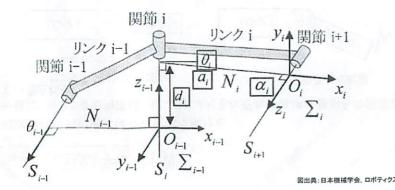
## 順運動学の計算

θ<sub>1</sub>, θ<sub>2</sub>が分かれば、同次変換行列から各関節・先端の向き・位置が分かる



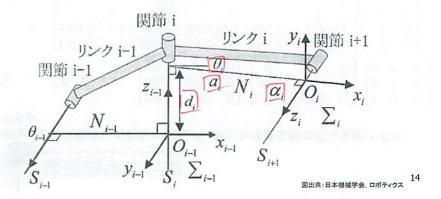
# D-Hパラメータ(Denavit-Hartenberg method parameters)

- 4つのパラメータで次の座標系の位置・向きが表現される
- $a_i$ : 共通法線 $N_i$ の長さ(リンク長さ)
- $\theta_i: x_{i-1}$ 軸と $x_i$ 軸のなす角(リンク間角度)
- $\alpha_i : z_{i-1}$ 軸と $z_i$ 軸のなす角(リンクのねじれ角)
- $d_i$ :原点 $O_{i-1}$ から共通法線 $N_{i-1}$ と $S_i$ との交点までの距離(リンク間距離)



# D-H法(Denavit-Hartenberg method)

- よく知られた座標系の取り方として、4つのパラメータを用いるD-H法がある
- 関節軸iを含む直線を $S_i$ とし、 $S_{i,1}$ と $S_i$ の共通法線を $N_{i,1}$ とする
- $S_i$ の向きを座標系 $\Sigma_{i-1}$ の $z_{i-1}$ 軸とし、 $N_{i-1}$ と $S_i$ の交点を原点 $O_{i-1}$ とする
- $N_{i-1}$ の方向を $x_{i-1}$ とし、右手系で $y_{i-1}$ 軸を決める ※軸の決め方の異なる修正D-H法もある



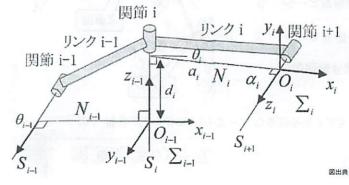
## D-Hパラメータ(Denavit-Hartenberg method parameters)

■ 同次変換行列を考えると

$$i^{-1}T_i = \mathbf{Rot}(\mathbf{z}, \theta_i)\mathbf{Trans}(0, 0, d_i)\mathbf{Trans}(a_i, 0, 0)\mathbf{Rot}(\mathbf{x}, \alpha_i)$$

$$= \begin{bmatrix} C\theta_i & -S\theta_iC\alpha_i & S\theta_iS\alpha_i & a_iC\theta_i \\ S\theta_i & C\theta_iC\alpha_i & -C\theta_iS\alpha_i & a_iS\theta_i \\ 0 & S\alpha_i & C\alpha_i & d_i \\ 0 & 0 & 0 & 1 \end{bmatrix}$$
※関節iが  
は $\theta_i$ が、歯

※関節iが回転関節の場合は $\theta_i$ が、直動関節の場合は $d_i$ が変数となる(他は固定)



図出典:日本機械学会、ロボティクス